

2025年9月21日 聖日礼拝メッセージ 牧師：伊藤 博

《テーマ》 あなたの「5つのパンと2匹の魚」をイエス様のもとに

・ ・ イエス様の驚くべき奇跡と豊かな祝福に生きるには ・ ・

《みことば》 ヨハネ6：1～13



- 1 その後、イエスはガリラヤの湖、すなわち、ティベリアの湖の向こう岸に行かれた。
- 2 大勢の群衆がイエスについて行った。イエスが病人たちになさっていたしるしを見たからであった。
- 3 イエスは山に登り、弟子たちとともにそこに座られた。 4 ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。
- 5 イエスは目を上げて、大勢の群衆がご自分の方に来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人たちに食べさせようか。」
- 6 イエスがこう言われたのは、ピリポを試すためであり、ご自分が何をしようとしているのかを、知っておられた。
- 7 ピリポはイエスに答えた。「一人ひとりが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」
- 8 弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。
- 9 「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」
- 10 イエスは言われた。「人々を座らせなさい。」その場所には草がたくさんあったので、男たちは座った。その数はおよそ五千人であった。
- 11 そうして、イエスはパンを取り、感謝の祈りをささげてから、座っている人たちに分け与えられた。魚も同じようにして、彼らが望むだけ与えられた。
- 12 彼らが十分食べたとき、イエスは弟子たちに言われた。「一つも無駄にならないように、余ったパン切れを集めなさい。」
- 13 そこで彼らが集めると、大麦のパン五つを食べて余ったパン切れで、十二のかごがいっぱいになった。

《本日のメッセージ》

1、イエス様は、すべての問題の解決法を知っているお方です。

a、イエス様のもとに大勢の群衆が集まっていましたが、そこに『食べ物』の問題がおこりました。

夕方になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここは寂しい所ですし、時刻ももう回っています。

ですから群衆を解散させてください。そして村に行つてめいめいで食物を買うようにさせてください。」 マタイ14:15

①弟子達は困惑し、群衆を解散させ、それぞれがその問題を解決する様に勧めます。

②ピリポは「200デナリ（※）のパンでは足りません」と言います。 ※1デナリとは1日分の賃金 7節

b、しかし、イエス様は、その問題の解答を既に持っておられました。 6節

①夜通し働いても漁の無かった漁師ペテロの問題も、イエス様はその答えを持っておられました。 ルカ5章

②ぶどう酒の無くなったカナの婚宴の問題も、イエス様はその答えを持っておられました。 ヨハネ2章

c、イエス様は、私たちの人生の問題の全ての解答を、既に持っておられるお方です。

☆あなたの病の問題も、家庭・家族の問題も、経済の問題も、罪の問題も、将来の不安にも ・ ・

2、イエス様は、驚くべき奇跡を起こし・豊かに祝福してくださるお方です。

a、イエス様は、「5つのパンと2匹の魚」を用いて、驚くべき奇跡を行いました。 11～13節

b、イエス様は、今も生きておられ、私たちにも驚くべき奇跡を起こし・豊かに祝福してくださいます。

☆中地区聖会でお証をされた山形教会の引退牧師布施勉師が神学生だった頃、遠い親戚にあたる横田愛子さん（柏崎市の当時小学5年生）に福音を伝えました。愛子さんはやがて横浜の教会で救われ・結婚し、今は伊藤牧師夫人となっています。

3、イエス様の驚くべき奇跡と豊かな祝福を、あなたも体験するためには？

a、イエス様の奇跡と祝福は、私たちのできるところから行う事・始めることから起こります。

5節

①主の奇跡と豊かな祝福を体験するための法則

「あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい。」

マタイ14:16

「あなたがたが、できること・すべきことをやってください。」

②主の奇跡と豊かな祝福は「棚ぼた」式ではなく私たちが主と共に何かを始めるところから始まります。

☆やもめの負債の返済のためエリシャはやもめに「沢山の器を用意しなさい」と言いました。

全ての器は油で満ち、やもめはそれを売って負債を返済しました！

Ⅱ列王記4:1～7

☆重い皮膚病のアラムの將軍ナアマンにエリシャは「ヨルダン川に7回身をひたしなさい」と言いました。

最初は渋っていましたが、部下の進言により、それをした時癒されました。

Ⅱ 5:1～14

b、主の奇跡は、少年の持っていた「5つのパンと2匹の魚」から起こりました。8～9節

①イエス様の奇跡と祝福を受けるため、私達のすべきこと・・・

それは、私達の「5つのパンと2匹の魚」をイエス様の前に差し出すことです。

②少年の持っていた「5つのパンと2匹の魚」とは、

小さいもの・取るに足りないもの・奇跡や祝福とは関係無いようなものでした。

③主の弟子達は「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。

でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」9節と言いました。

☆たとえ「それが何になるでしょう。」と思える小さなこと、とるに足りない事、

たとえ、奇跡や祝福とは関係ない様に思えても、主の求めに応えて差し出しましょう。

④主の奇跡は、小さな信仰・・・からし種ほどの信仰・・・であってもなされるのです。

イエスは言われた。「・・・もし、からし種ほどの信仰があったら、

この山に、『ここからあそこに移れ』と言えば移るのです。

どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。マタイ17:20

c、少年の「5つのパンと2匹の魚」のように、取るに足りないもの、小さい物・弱い者・

小さい信仰でも、主イエス様に差し出す時、主がそれを祝福するのです。

☆夜通し漁をしても、1匹も魚の獲れない失意のペテロの「5つのパンと2匹の魚」は

イエス様のことばに従い「沖に漕ぎ出し・網を降ろすこと」でした・・・ 舟が沈みそうになる大漁！

☆カナの婚礼で、葡萄酒が無くなった際の「5つのパンと2匹の魚」は、

イエス様のことばに従い「水がめに水を満たすこと」でした・・・ 水がぶどう酒に！

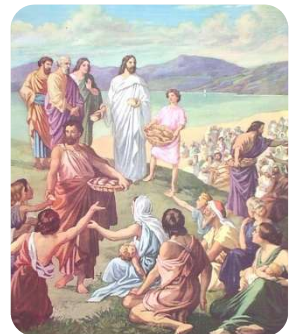
☆伊藤牧師が横浜で会社勤務していた頃、同僚の霊的な飢餓状態を観て、祈りの中で示された

「5つのパンと2匹の魚」は「金曜日昼休みの聖書研究会」でした・・・ 7人魂の救い・献身者も！

d、イエス様は「5つのパンと2匹の魚」の奇跡を通して、イエス様のもとに来て・信じる者は、

飢えることもなく渴くことが無い「永遠のいのち」を受けることを結論的に語りました。

イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢える



ことがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。」 ヨハネ6:35

☆イエスのもとに来て・イエスを信じるという「5つのパンと2匹の魚」を差し出しましょう。